# これからの柏の図書館をおもしろくする作戦会議!!



# #03

2026.9.27(日) 13:30-16:00

@ ラコルタ柏
［柏市教育福祉会館］

1 〔ゲストトーク｜Guest Talk〕
「北欧の事例から描く柏の未来」
デンマークの にぎやかな 公共図書館も 事情!!
吉田 右子 さん
筑波大学図書館情報メディア系教授

2 〔ワークショップ｜Workshop〕
「柏の図書館のミライを考える」

図書館からはじまる、柏の新しい日常。


これからの図書館で
「大切にしたいこと」を考えよう

# 「これからの図書館で大切にしたいこと」主な意見

## 概念（理念・ビジョン・あり方）

**•みんなの居場所・サードプレイス**
- 一人でも居心地のいい場所。
- 放課後にふらっと「行こうかな」と思えるような雰囲気。
- 本屋みたいに気軽にワクワクして素敵に出入りしたい。
- リラックスできる、気持ちの切り替えの場所。
- 市民が「自分の図書館」と感じられるような自ら参加できる学びと、文化の創造につながる場所。

**•多世代・多様な人の包摂（インクルーシブ）**
- 乳幼児から高齢者まで、気がねなく利用できる場所。
- 国、年齢層、ジェンダー、職業など関係なく集える場であること、清潔感があり、挨拶から始まる安心安全な居場所。

**•人とのつながり・対話・リアルな交流**
- 『人と人とのコミュニケーションの場』。
- 話し合うだけでなく、その場で実践できる活動を生み出す場。
- 利用者ひとりひとりの尊厳（自由）をまもりつつ、求めに応じて柔軟に人と情報とつながりが持てるような空間を持つ図書館。

**•情報や学びの基盤**
- 新しい経験や刺激から学び、成長、楽しみにつなげられる。
- 情報からの知識、知恵が得られる場

**•挑戦・実行できる環境**
- 挑戦できる（失敗してもよい、まずやってみる）。
- 本から得た「知」を実際にやってみることのできる場所。

## 条件（立地・運用方針・ルールなど）

•駅近、利便性、返却受け取りがしやすい。
•誰もが容易にアクセスできる（場所、時間、言語、バリアフリー、遠隔利用）。
•図書館×公民館のハイブリットな図書館機能を持った「場」を作っていくこと。
•静かなところと話すところを分ける。
•ワンストップサービス（行政施設もあり、商業施設もあり）。

## 具体的な要素（設備・空間・サービス・コンテンツなど）

•リラックスできるソファーやいすなど。
•飲食しながら本が楽しめるといい。
•本屋さんのように読んだ人がコメントを書いて共有する。
•市民のスキルを困り事に活かすイベント、IT教室、読み聞かせ。
•受験生や勉強したい大人が勉強できる環境。
•柏らしさ（ロケ地となった作品の監督、作者の講演、地域のお店や活動とのコラボ、スポーツ選手と本の講演など）。

## その他（運営・財源・市民参加など）

•行政サービスに委ねることなく、市民意識、参加できる意味を持たせることも大切。
•自治体や国の予算だけに頼らず、クラファンや柏市民からの寄付を募る。
•ボランティアをまとめるコーディネーターの教育もすごく大切。
•司書や専門家の人材を充実させる。柏に在住のプロがいっぱいいるから、その人たちの手を借りる。